

## 課題演習について

### 1 課題演習の狙い

- (1) 現状を把握して問題点等を的確に抽出し、その原因を分析した上で政策等を立案していくという能力、グループにおける自己の役割を果たしながら様々な意見を調整して時間内に一定の成果を導き出すという能力、討議等の内容や導き出した成果を他の者に適切に伝えるというプレゼンテーション能力等、職務遂行に必要な能力の向上を図ること。
- (2) 各自治体が共通して抱える課題について情報交換、意見交換等を行うことにより、課題解決に当たっての手がかりをつかみ、担当業務に対するモチベーションの向上を図るとともに、研修生相互の交流を深めること。

### 2 課題演習テーマ

- (1) 「水道事業の経営改善」又は「下水道事業の経営改善」から一つを選択し、「研修受講申告書」の関係部分に記入する（チェックする）とともに、「課題演習資料」を作成してください。
- (2) 「課題演習資料」の内容は、最初の課題演習（討議）の時間に、他の班員に説明していただきますので、同資料の作成に当たっては、他の班員が理解しやすいように、具体的な記述に努めてください。

### 3 課題演習の進め方

- (1) 演習班ごとに、水道事業又は下水道事業の現状を把握して問題点や課題を的確に抽出し、その原因等を分析した上で、具体的なテーマを設定し、経営改善に向けた施策や課題解決方法をまとめていただきます。
- (2) 課題演習においては、討議や発表準備を自主的・計画的に進められるよう、「座長」（司会、進行管理等）、「記録係」（討議日誌及び発表用レジュメの作成、板書等）、「発表者」等の役割分担を設けます。
- (3) 各演習班は、最後に、討議等の結果をまとめ、発表用レジュメ等を用いてクラス全員の前で発表します。また、各演習班による発表の後には、質疑応答を行うとともに、講師による講評を受けます。